

～変革と成長～
2023年3月期第3四半期
決算説明会資料



MITSUI & CO.

2023年2月3日
三井物産株式会社

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手している情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成、及び将来の業績を保証するものではありません。こうしたリスク、不確実性及びその他の要素には、当社の最新の有価証券報告書、四半期報告書等の記載も含まれ、当社は、将来に関する記述のアップデートや修正を公表する義務を一切負うものではありません。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なって下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

目次

1 中期経営計画の進捗状況

2 経営成績の詳細

3 補足資料

1

中期経営計画の進捗状況

経営成績サマリー

- 当期利益、基礎営業キャッシュ・フロー共に第3四半期実績として過去最高を更新
- 通期業績予想を上方修正。期末配当は5円増配の70円（年間配当135円）を予定。
実行中の自己株式取得額の1,000億円追加と期間延長を決定

(単位：億円)

	2022年3月期 第3四半期実績	2023年3月期 第3四半期実績	増減	2023年3月期 従来予想 22年11月公表	進捗率
基礎営業キャッシュ・フロー ^{*1}	8,629	9,612	+983	11,300	85%
当期/四半期利益 ^{*2}	6,333	8,408	+2,075	9,800	86%

*1. 営業活動に係るキャッシュ・フロー（23/3期第3四半期：5,999億円）－ 運転資本の増減に係るキャッシュ・フロー（同：▲4,039億円）－ リース負債の返済による支出額（同：426億円）

*2. 本資料では、当期連結会計年度の「当期利益（親会社の所有者に帰属）」を「当期利益」と表記

通期業績予想を上方修正

- 基礎営業キャッシュ・フロー 12,000億円（従来予想比 +700億円）
- 当期利益 10,800億円（従来予想比 +1,000億円）

株主還元を以下の通り拡充

- 期末配当は70円/株、年間配当は135円/株（来期は140円/株を下限）を予定
- 自己株式取得枠の1,400億円から2,400億円への拡大と期間延長を決定（～2023年7月）
- 全取得株数に10百万株を加えた株数を2023年3月と8月に消却

従来予想に対する進捗率

- 従来予想に対して、基礎営業キャッシュ・フロー85%、当期利益86%の進捗率
- 原料・素材等のトレーディング、自動車事業、ヘルスケア事業は堅調な業績継続
- 上半期にデリバティブ損失等を先行認識したLNGトレーディングは当四半期から利益貢献

基礎営業キャッシュ・フロー

	第3四半期 実績	従来予想 22年11月公表	進捗率
金属資源	3,555	4,100	87%
エネルギー	2,759	3,600	77%
機械・インフラ	1,587	1,800	88%
化学品	725	950	76%
鉄鋼製品	154	150	103%
生活産業	312	250	125%
次世代・機能推進	344	350	98%
その他、調整・消去	176	100	—
全社 合計	9,612	11,300	85%

当期/四半期利益 (単位：億円)

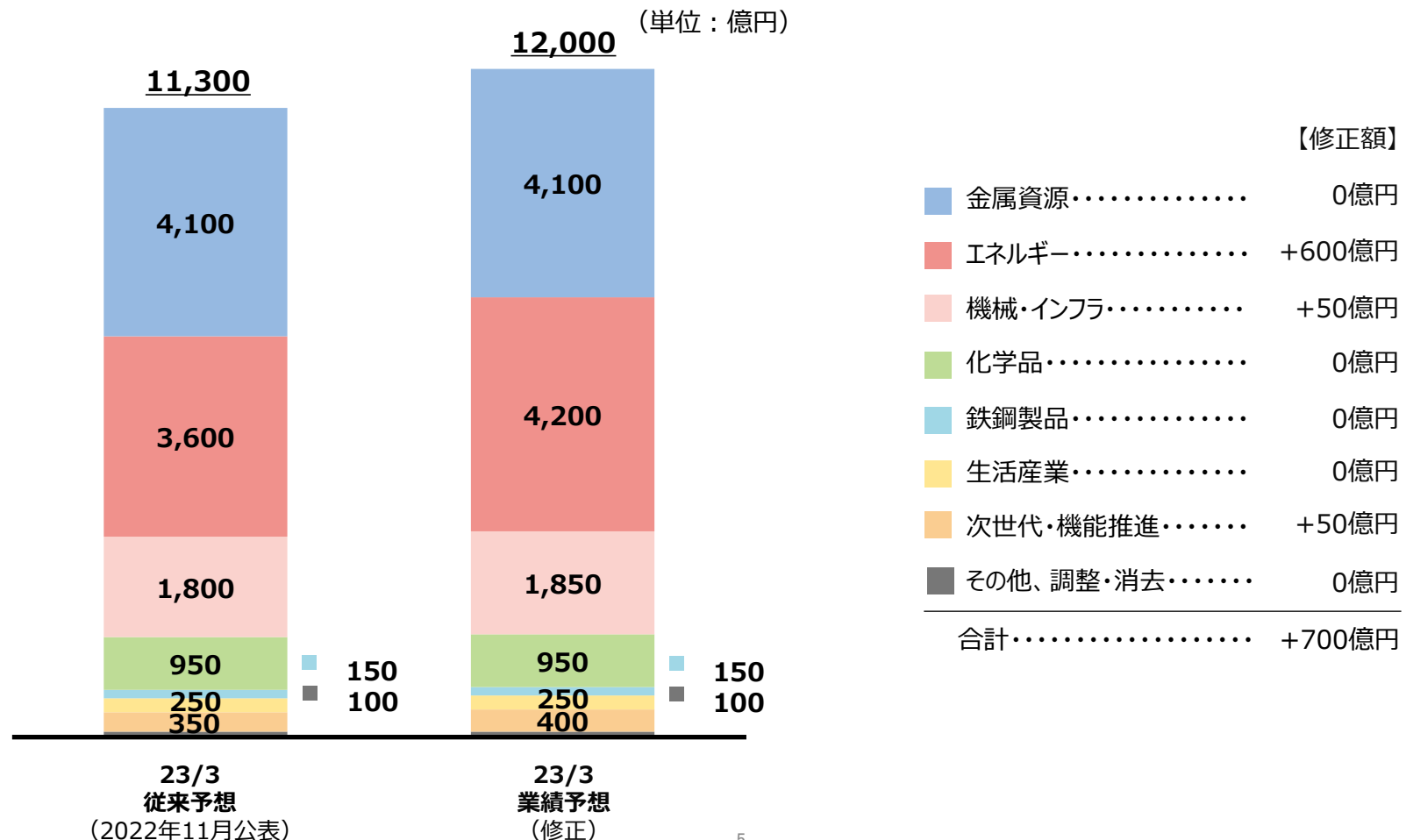
	第3四半期 実績	従来予想 22年11月公表	進捗率
	3,554	4,000	89%
	1,908	2,300	83%
	1,311	1,750	75%
	547	700	78%
	195	200	98%
	423	500	85%
	497	550	90%
	▲27	▲200	—
	8,408	9,800	86%

2023年3月期 通期業績予想（修正）

基礎営業キャッシュ・フロー：12,000億円に修正（従来予想比+700億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

■エネルギー：+600億円 LNGトレーディング（カメロンLNG引取数量増）



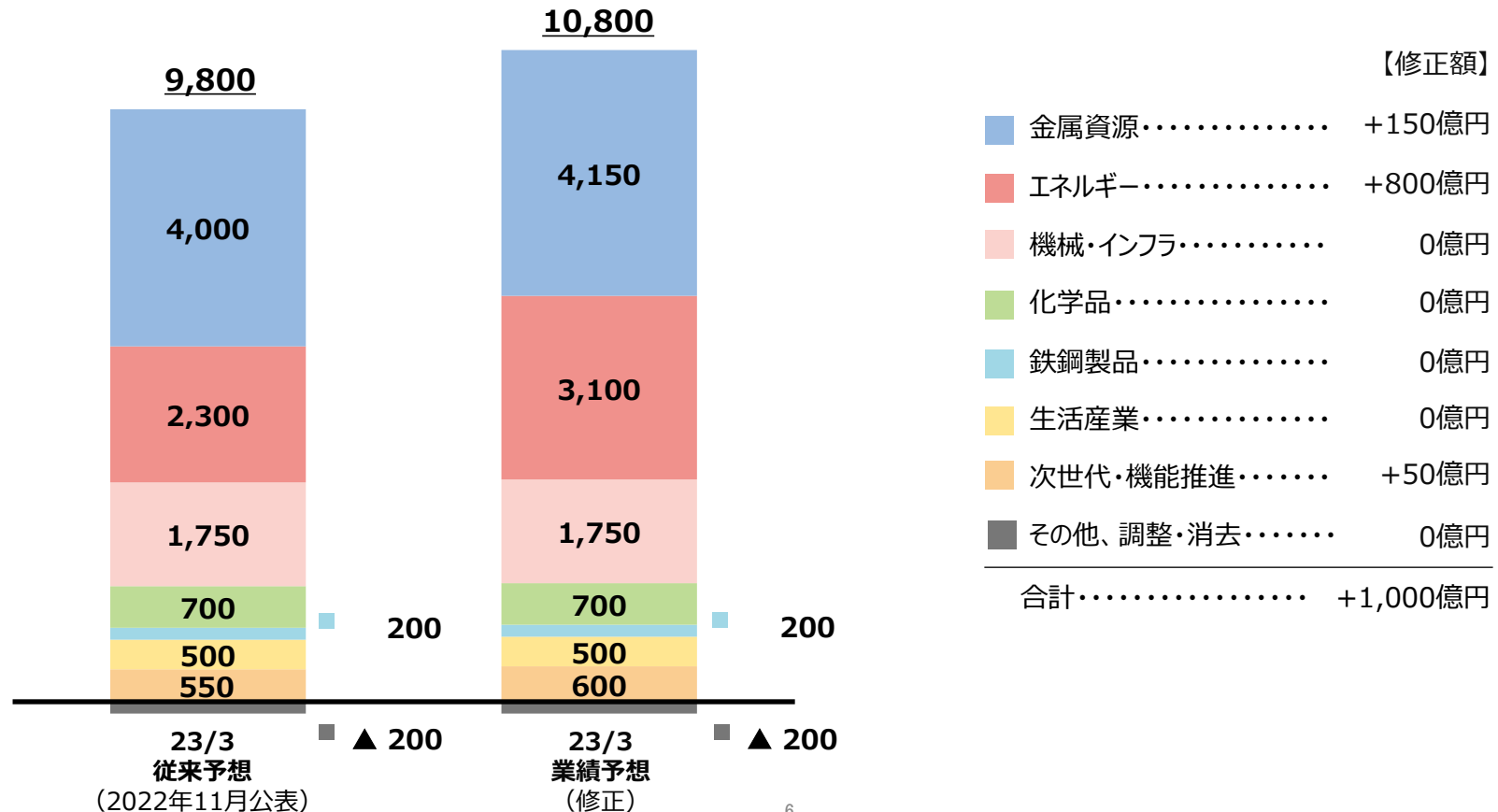
2023年3月期 通期業績予想（修正）

当期利益：10,800億円に修正（従来予想比+1,000億円）

<主なセグメント別の修正額及び理由>

■ エネルギー	:	+	800億円	LNGトレーディング（キャメロンLNG引取数量増）
■ 金属資源	:	+	150億円	商品市況

（単位：億円）



キャッシュ・フロー・アロケーション（実績）

キャッシュ・フロー・アロケーション及び資産リサイクル・投融資実績

（単位：億円）

		21/3～22/3期 累計実績	23/3期 3Q累計実績	合計	主な3Q累計実績
キャッシュ・ イン	基礎営業 キャッシュ・ フロー	18,170	9,610	27,780	－
	資産 リサイクル*1	4,000	3,070	7,070	【金属資源】豪州原料炭SMC売却 【次世代・機能推進】米不動産売却、星不動産売却 【機械・インフラ、生活産業】FVTOCI金融資産売却 【機械・インフラ】墨Falcon売却
キャッシュ・ アウト	投融資*1	▲9,560	▲4,910	▲14,470	【機械・インフラ】Mainstream、印大型再エネ事業 【エネルギー】Climate Friendly、石油・ガス生産事業（既存事業維持等）、MOECO*5 【金属資源】豪州鉄鉱石・原料炭事業（既存事業維持） 【化学品】伯アニマルヘルス事業、機能性食品容器事業
	自己株式 取得	▲2,390*2	▲1,970*3	▲4,360	自己株式取得1,970億円*3
	配当	▲3,130	▲1,020*4	▲4,150*4	

*1. 定期預金の増減は除く

*2. 20年4～6月に390億円、21年2～3月に250億円の自己株式を取得。この他に従業員向け株式報酬の為の自己株式購入69億円あり

21年4～6月に750億円、21年8～10月に500億円、21年12～22年3月に500億円の自己株式を取得

*3. 22年12月までの取得額

*4. 23/3期中間配当1,020億円（1株当たり65円）、期末配当は含まず

*5. 前期取得したMOECO株式の未払い分。キャッシュ・フロー計算書においては財務活動によるキャッシュ・フローに区分

キャッシュ・フロー・アロケーション（見通し）

- 基礎営業キャッシュ・フローは上方修正、キャッシュ・イン拡大見込み
- マネジメント・アロケーションは17,800億円となる見通し
- 期末配当は5円増配の70円/株を予定

キャッシュ・フロー・アロケーション（2021年3月期～2023年3月期）のアップデート

		中期経営計画 (20年5月公表)	23年2月時点 見通し	(単位：億円)
キャッシュ・イン	基礎営業CF	15,000	30,200	
	資産リサイクル	9,000	7,800	
キャッシュ・アウト	投資決定済み 既存事業維持	15,000～17,000	15,000	
	成長投資 (Strategic Focus・新規)	3,000～5,000	マネジメント・アロケーション	マネジメント・アロケーション の見通しは次ページ参照
	自己株式取得		17,800	
	配当	4,000	5,200	

マネジメント・アロケーション（見通し）

■ マネジメント・アロケーション17,800億円は株主還元、成長投資、財務体質強化に配分

株主還元

- 23年上半期決算時点で累計4,800億円の自己株式取得を公表
- 新たに、1,000億円の自己株式取得枠拡大*を決定

成長投資

【既存事業のボルトオン / 周辺事業への投資を中心に推進】

- グローバルに広がりを持つ事業ポートフォリオを活かし、知見を蓄積した事業を展げる取組み、または信頼を深めたパートナーとの協業を中心に推進
- これらの取組みは成功確度が高く、事業基盤の強化や事業群の形成にも直結
 - ✓ 現中期経営計画期間中に2,800億円の投融資を予定
 - ✓ 24/3期に実行を見込む投資パイプラインに進捗あり
 - エームサービスの完全子会社化（公表済、約700億円）
 - りらいあコミュニケーションズの公開買付・経営統合（公表済、約600億円）
 - エネルギートランジション、天然ガスバリューチェーン強化
 - ヘルスケア強化、食・ニュートリションバリューチェーン構築

財務体質強化

- 不確実性の高い事業環境を踏まえ、手元流動性拡充に一旦充当

* 取得期間を7月末まで延長。3月31日までに取得した金額を、現中期経営計画期間の株主還元額とする

成長投資の進捗状況

- エームサービス^{*1}株式の追加取得により完全子会社化。給食サービス事業の更なる強化・拡大を加速し、「食」を通じた健康やウェルビーイングの向上に貢献
- ニュートリション、ヘルスケアなどの事業と組合せ、三井物産らしいウェルネス事業群の形成を推進



*1 エームサービス：米アマーク社と当社が50%ずつ出資する給食サービス事業会社

*2 メフォス：エームサービス100%子会社の給食サービス事業会社

*3 アラマーク ユニフォームサービス ジャパン：米アマーク、当社、エームサービスによる合併会社、ユニフォームレンタル事業

株主還元の推移

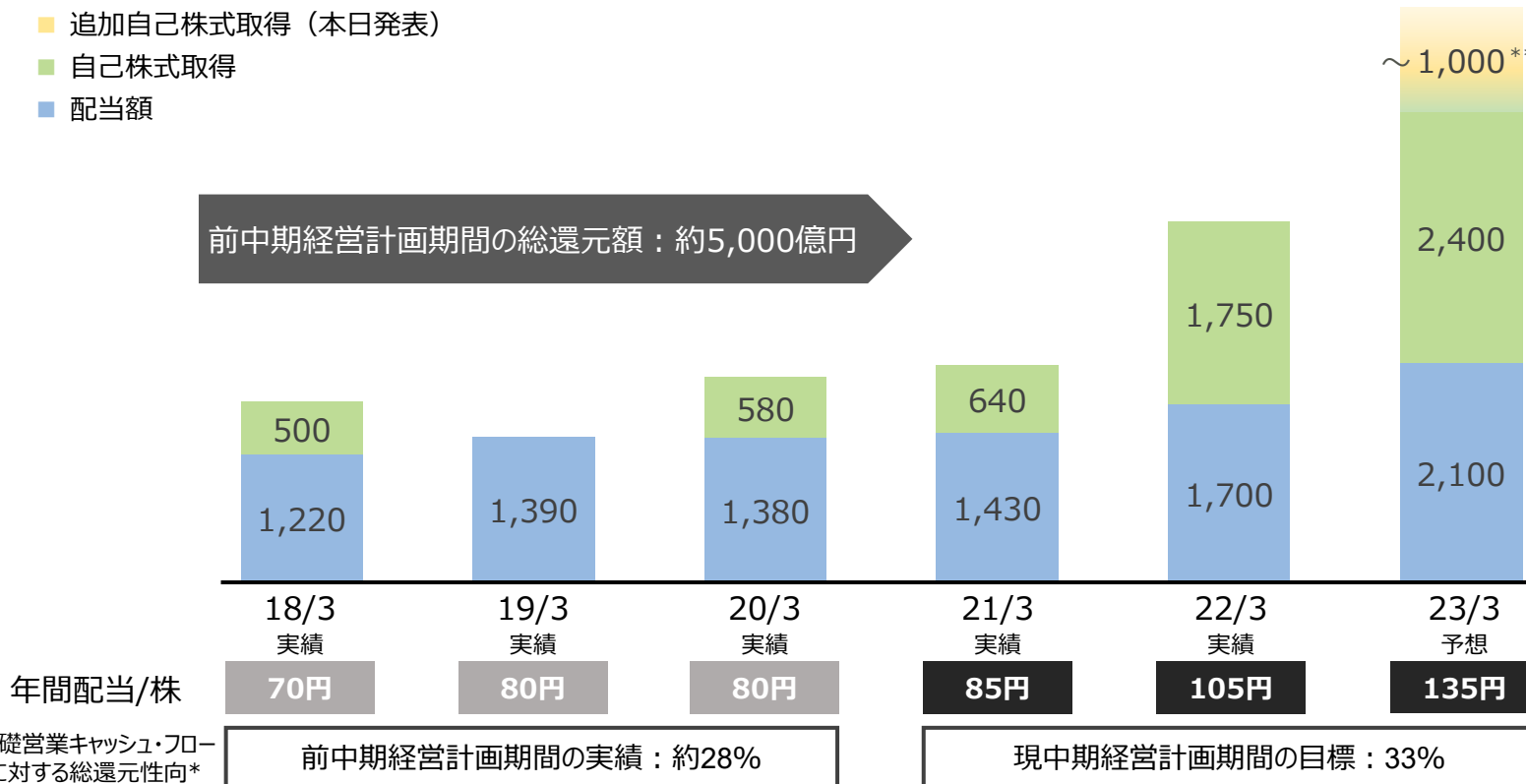
- 期末配当は5円増配の70円/株を予定、自己株式取得は1,000億円追加を決定
- 現中期経営計画期間の基礎営業キャッシュ・フローに対する総還元性向は33%を達成見込み

現中期経営計画期間の総還元額：1兆円超

(単位：億円)

- 追加自己株式取得（本日発表）
- 自己株式取得
- 配当額

前中期経営計画期間の総還元額：約5,000億円



MITSUI & CO.

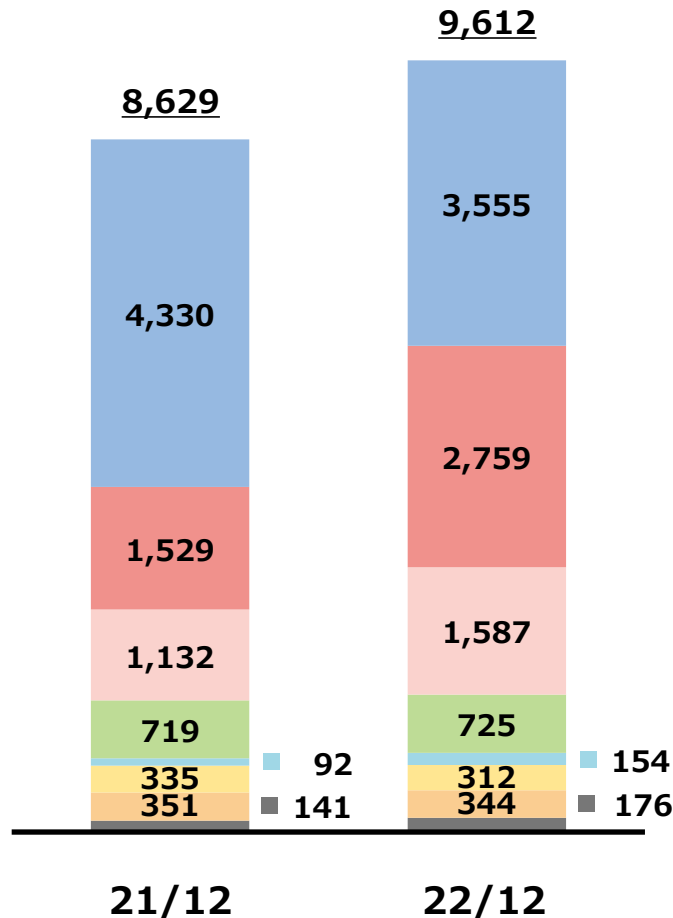
* 株主総還元額÷基礎営業キャッシュ・フロー
 ** 取得期間は2023年7月末まで。3月31日までに取得した金額を現中期経営計画期間の株主還元額とする

2 経営成績の詳細

基礎営業キャッシュ・フロー セグメント別前年同期比 増減要因

■ 基礎営業キャッシュ・フロー 9,612億円、前年同期比 +983億円

(単位：億円)

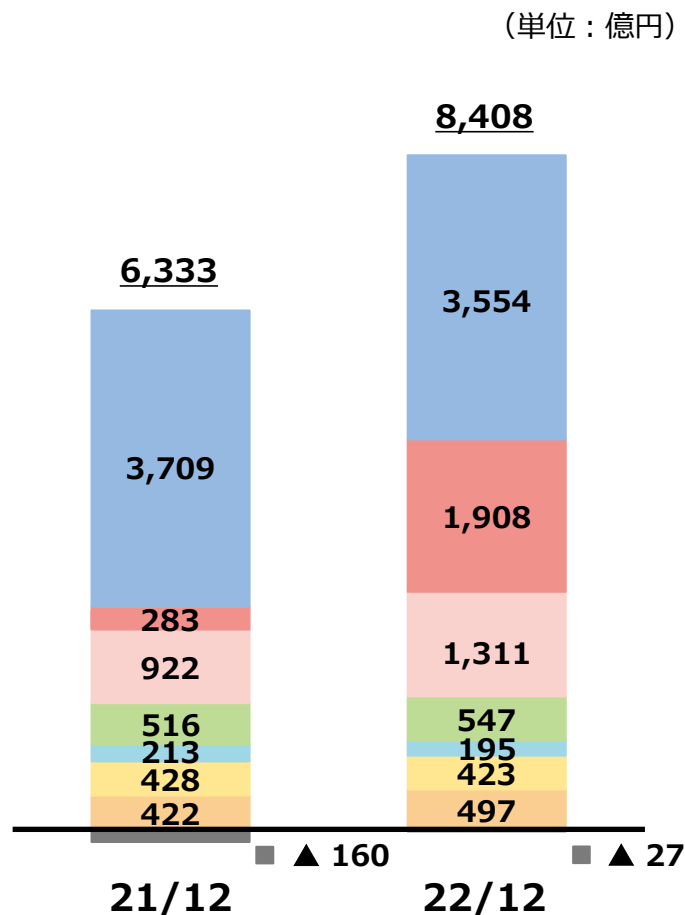


主な増減要因

- **金属資源 3,555億円 (前年同期比：▲775億円)**
 - ・鉄鉱石価格下落、Vale配当減
 - ・原料炭価格上昇
- ↑ **エネルギー 2,759億円 (前年同期比：+1,230億円)**
 - ・原油・ガス価格上昇
 - ・LNGトレーディング (キャメロンLNG引取数量増)
- ↑ **機械・インフラ 1,587億円 (前年同期比：+455億円)**
 - ・自動車・商用車を中心に関連会社からの受取配当増
- ↑ **化学品 725億円 (前年同期比：+6億円)**
 - ・肥料・肥料原料を中心に価格・販売量堅調
 - ・米国メタノール事業における販売価格下落・原料コスト増
- ↑ **鉄鋼製品 154億円 (前年同期比：+62億円)**
 - ・関連会社からの受取配当増
- ↓ **生活産業 312億円 (前年同期比：▲23億円)**
 - ・創業支援ファンドにおける公正価値評価損
 - ・穀物トレーディング堅調
- ↓ **次世代・機能推進 344億円 (前年同期比：▲7億円)**
 - ・前期FVTPL益の反動減
 - ・商品デリバティブトレーディング好調
- ↑ **その他 176億円 (前年同期比：+35億円)**
 - ・各セグメントに賦課しない経費・利息・税金等

四半期利益 セグメント別前年同期比 増減要因

■ 当期利益 8,408億円、前年同期比 +2,075億円

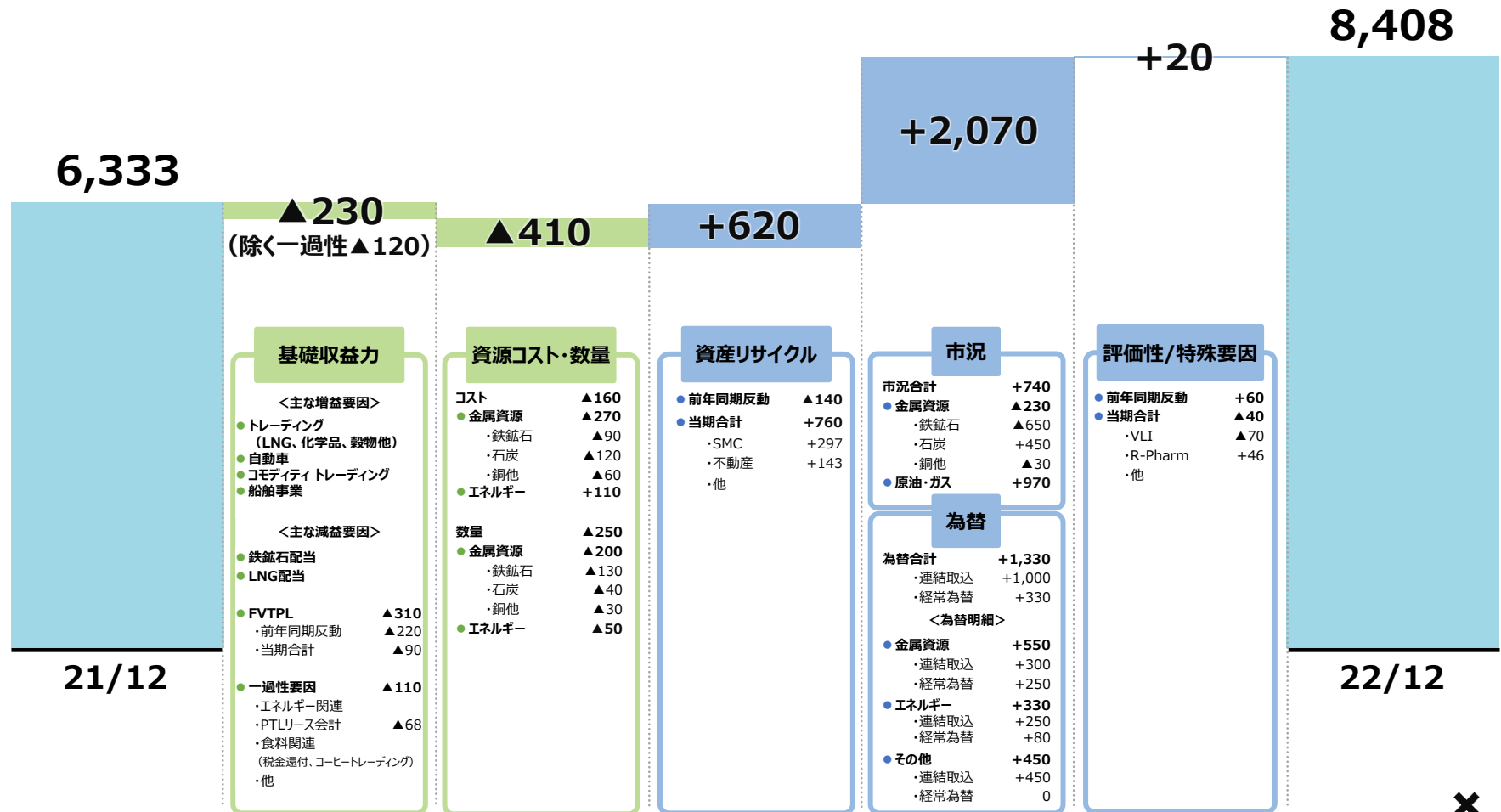


主な増減要因

- **金属資源 3,554億円 (前年同期比：▲155億円)**
 - ・鉄鉱石価格下落、Vale配当減
 - ・原料炭価格上昇、豪原料炭SMC売却益
- **エネルギー 1,908億円 (前年同期比：+1,625億円)**
 - ・原油・ガス価格上昇
 - ・LNGトレーディング (キヤメロンLNG引取数量増)
- **機械・インフラ 1,311億円 (前年同期比：+389億円)**
 - ・北米を中心とした自動車・商用車事業好調
- **化学品 547億円 (前年同期比：+31億円)**
 - ・肥料・肥料原料を中心に価格・販売量堅調
 - ・北米メタノール事業における販売価格下落・原料コスト増
- **鉄鋼製品 195億円 (前年同期比：▲18億円)**
- **生活産業 423億円 (前年同期比：▲5億円)**
 - ・コーヒートレーディングに係るヘッジコストの増加
 - ・創薬支援ファンドにおける公正価値評価損
 - ・プットオプション評価益
- **次世代・機能推進 497億円 (前年同期比：+75億円)**
 - ・前期FVTPL益の反動減の一方、不動産事業における売却益
- **その他 ▲27億円 (前年同期比：+133億円)**
 - ・各セグメントに賦課しない経費・利息・税金等

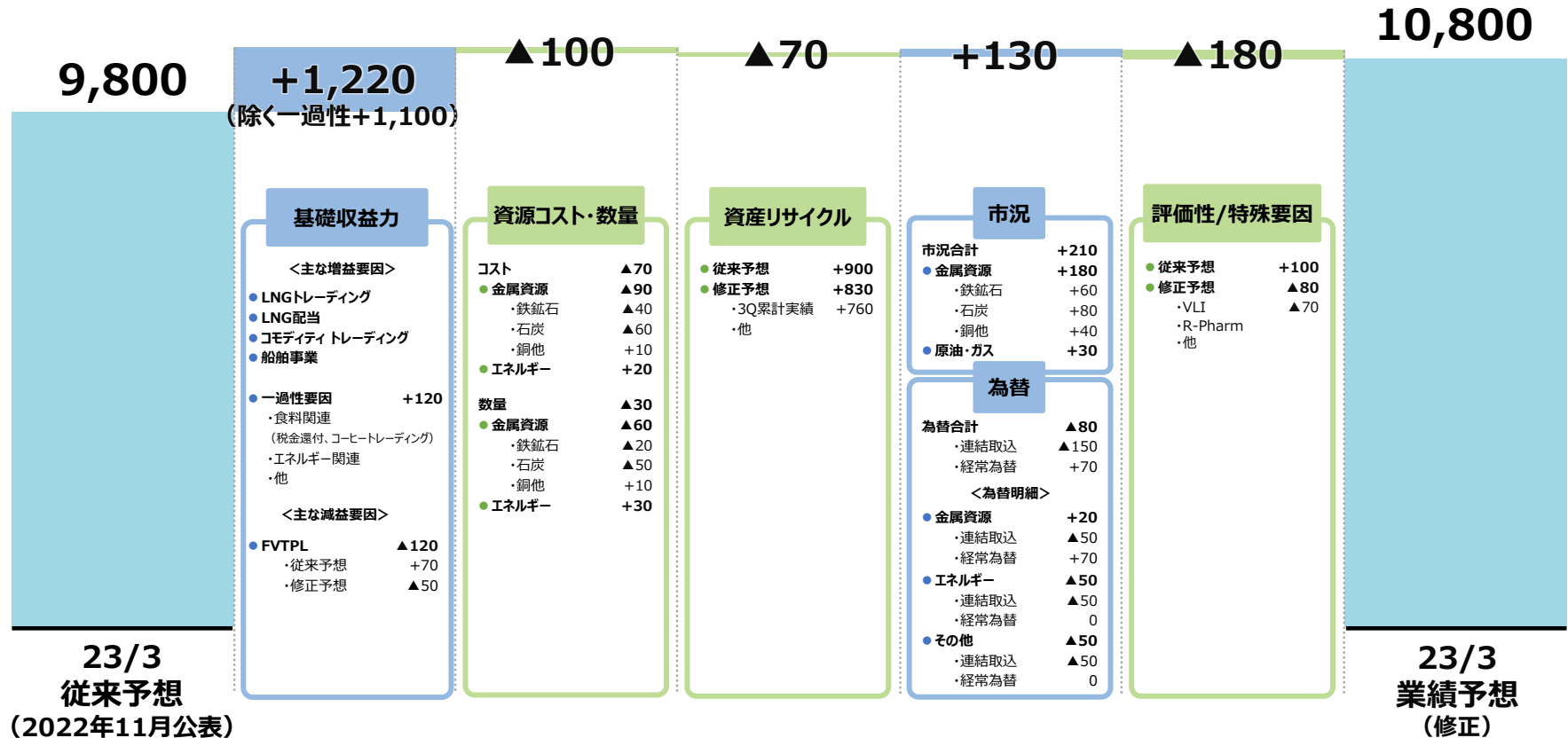
四半期利益 要素別前年同期比 増減要因

(単位：億円)



通期業績予想 要素別従来予想比 増減要因

(単位：億円)

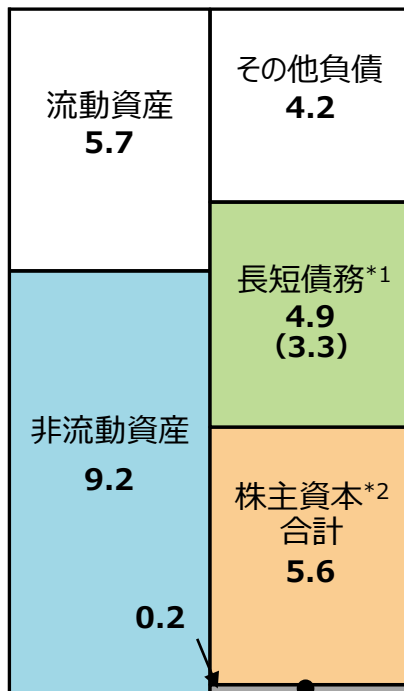


財務戦略・ポートフォリオ経営の進化

バランスシート

(単位：兆円)

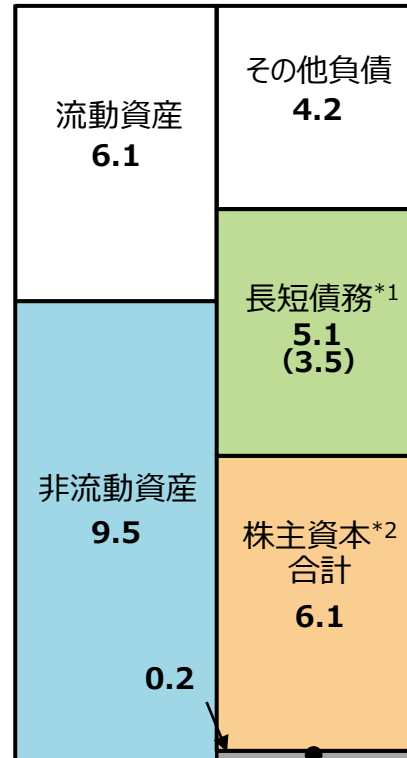
22/3



非支配持分

総資産	14.9兆円
株主資本	5.6兆円
ネットDER	0.60倍

22/12



非支配持分

総資産	15.6兆円
株主資本	6.1兆円
ネットDER	0.57倍

主な残高・増減

有利子負債*3 4.7兆円 (22/3末比：+0.2兆円)
 ネット有利子負債*4 3.5兆円 (22/3末比：+0.2兆円)

株主資本*2 6.1兆円 (22/3末比：+0.5兆円)

- ・ 第3四半期利益： +0.8兆円
- ・ FVTOCIの金融資産： ▲0.2兆円
- ・ 外貨換算調整勘定： +0.1兆円
- ・ 配当支払： ▲0.2兆円
- ・ 自己株式取得： ▲0.2兆円

*1. 長短債務のカッコ内数字は、ネット有利子負債

*2. 本資料では「親会社の所有者に帰属する持分」を株主資本と表記

*3. 有利子負債は長短債務からリース負債を除外して計算

*4. ネット有利子負債は*3.有利子負債から現金及び現金同等物を控除して計算

3 補 足 資 料

3 補足資料

- 1 前提条件及び感応度
- 2 金属資源：持分法権益生産量及び生産量実績
- 3 金属資源：主な事業一覧
- 4 エネルギー：原油・ガス持分権益生産量及び埋蔵量
- 5 エネルギー：主な事業一覧（生産中アセットのみ）
- 6 エネルギー：ロシアLNG事業の決算影響
- 7 発電事業ポートフォリオ
- 8 要素別・セグメント別前年同期比 増減要因
- 9 連結損益・財政状態補足情報 *
- 10 セグメント別データ
- 11 主要関係会社業績（当社取込損益） *
- 12 オペレーティング・セグメント情報（当期/前期） *

*決算補足資料より移管

Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.



1.前提条件及び感応度

価格変動の23/3期当期利益への影響額 (2022年5月公表)			23/3期従来予想 (2022年11月公表)	23/3期3Q累計 (実績)	23/3期4Q (前提)	23/3期通期予想 (3Q累計・4Q平均値)	
市況商品	原油／JCC		－	97	108	78	101
	連結油価（＊1）		22 億円（US\$1/バレル）	89	93	92	92
	米国ガス（＊2）		10 億円（US\$0.1/mmBtu）	6.62	6.65（＊3）	6.11	6.52
	鉄鉱石（＊4）		22 億円（US\$1/トン）	（＊5）	114（＊6）	（＊5）	（＊5）
	石炭	原料炭	5 億円（US\$1/トン）	（＊5）	364（＊7）	（＊5）	（＊5）
		一般炭	1 億円（US\$1/トン）	（＊5）	374（＊7）	（＊5）	（＊5）
	銅（＊8）		7 億円（US\$100/トン）	8,638	9,085（＊9）	8,006	8,815
為替 （＊10）	米ドル		46 億円（¥1/米ドル）	137.65	136.85	130.00	135.14
	豪ドル		25 億円（¥1/豪ドル）	93.26	93.16	93.00	93.12
	伯リアル		3 億円（¥1/伯リアル）	25.76	26.50	25.00	26.13

(*1) 原油価格は0～6ヶ月遅れで当社連結業績に反映されるため、この期ずれを考慮した連結業績に反映される原油価格を連結油価として推計している。

2023年3月期には約35%が4～6ヵ月遅れで、約60%が1～3ヵ月遅れで、約5%が遅れ無しで反映されると想定される。上記感応度は、連結油価に対する年間インパクト。

(*2) 当社が米国で取り扱う天然ガスはその多くがHenry Hub (HH) に連動しない為、上記感応度はHH価格の変動に対するものではなく、加重平均ガス販売価格に対するインパクト。

(*3) 米国ガスの2023年3月期3Q実績欄には、2022年1月～9月のNYMEXにて取引されるHenry Hub Natural Gas Futuresの直近限月終値のdaily平均値を記載。

(*4) Valeからの受取配当金に対する影響は含まない。

(*5) 鉄鉱石・石炭の前提価格は非開示。

(*6) 鉄鉱石の2023年3月期3Q実績欄には、2022年4月～12月の複数業界紙によるスポット価格指標Fe 62% CFR North Chinaのdaily平均値（参考値）を記載。

(*7) 石炭の2023年3月期3Q実績欄には、対日代表銘柄石炭価格（US\$/MT）の四半期価格の平均値を記載。

(*8) 銅価格は3ヶ月遅れで当社連結業績に反映される為、上記感応度は2022年3月～12月のLME cash settlement price平均価格がUS\$100/トン変動した場合に対するインパクト。

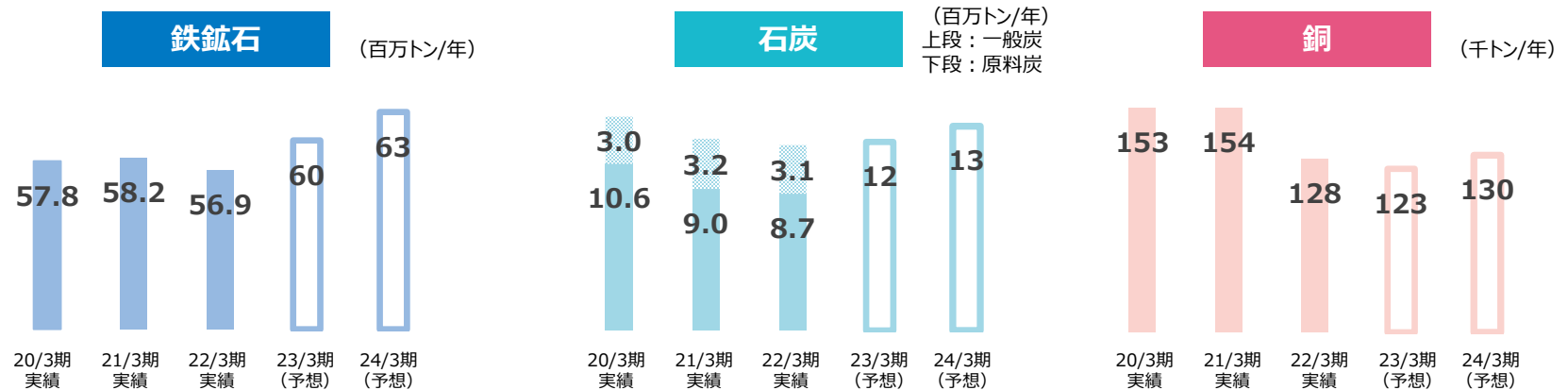
(*9) 銅の2023年3月期3Q実績欄には、2022年1月～9月のLME cash settlement priceのmonthly averageの平均値を記載。

(*10) 上記感応度は、各国所在の関係会社が報告する機能通貨建て当期利益に対するインパクト及び一部海外出資先からの受取配当金の影響。円安は機能通貨建て当期利益の円貨換算を通じて増益要因となる。関係会社における販売契約上の通貨である米ドルと機能通貨の豪ドル・伯レアルの為替変動、及び為替ヘッジによる影響を含まない。

2.金属資源：持分権益生産量及び生産量実績

持分権益生産量

(2022年5月公表)



生産量実績

22/3期

23/3期

	22/3期					23/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	累計	1Q	2Q	3Q	累計
鉄鉱石 (百万トン)	13.4	14.1	15.7	13.7	56.9	13.3	14.7	16.3	44.2
豪州鉄鉱石	9.6	9.8	10.5	8.8	38.7	9.4	10.1	10.6	30.0
Vale*1	3.8	4.3	5.2	4.9	18.2	3.9	4.6	5.7	14.2
石炭*2 (百万トン)	2.8	3.0	3.0	3.0	11.8	2.1	2.8	2.3	7.2
MRP	1.9	1.9	1.9	1.9	7.6	1.2	1.9	1.6	4.7
SMC*1	0.4	0.5	0.4	0.5	1.8	0.5	0.5	0.2	1.1
豪州原料炭	1.8	2.0	2.0	1.9	7.7	1.3	2.0	1.4	4.7
豪州一般炭	0.5	0.4	0.3	0.5	1.7	0.4	0.4	0.4	1.1
Moatize*1	0.2	—	—	—	0.2	—	—	—	—
銅*1, 2 (千トン)	32.2	33.6	30.5	31.6	127.9	28.3	27.2	27.5	83.0

*1. Vale、SMC、Moatize及び銅は1Q: 1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月の実績

*2. Vale生産分 (2019/3 4Q以降: 5.6%, 2022/3 2Q: 5.7%, 2022/3 3Q以降: 5.9%, 2023/3 1Q: 6.0%, 2Q: 6.2%, 3Q: 6.3%) 等を含む

3.金属資源：主な事業一覧

商品	案件名* ¹	所在国	2022年3月期 持分生産量	主なパートナー	当社出資比率* ⁵	当社収益認識
鉄鉱石	Robe River	豪州	18.7百万トン	Rio Tinto	33.0%	連結（一部持分法）
鉄鉱石	Mt. Newman / Yandi / Goldsworthy / Jimblebar	豪州	20.0百万トン	BHP	7.0%	連結（一部受取配当金）
鉄鉱石	Vale	伯国	18.2百万トン* ³	Vale	6.39%	受取配当金
石炭	South Walker Creek / Poitrel* ²	豪州	1.8百万トン* ³	Stanmore	* ²	持分法* ²
石炭	Kestrel	豪州	1.2百万トン	EMR / Adaro	20.0%	連結
石炭	Moranbah North / Grosvenor / Capcoal / Dawson	豪州	6.4百万トン	Anglo American	Various	連結
銅	Collahuasi	チリ	75.6千トン* ³	Anglo American Glencore	12.0%	持分法
銅	Anglo American Sur	チリ	35.2千トン* ³	Anglo American Codelco	9.5%	持分法
ニッケル	Taganito	フィリピン	4.5千トン* ⁴	住友金属鉱山	15.0%	受取配当金

*1. JV名、企業名、プロジェクト名を含む

*2. 2022年10月に売却完了

*3. 2021年1-12月の実績

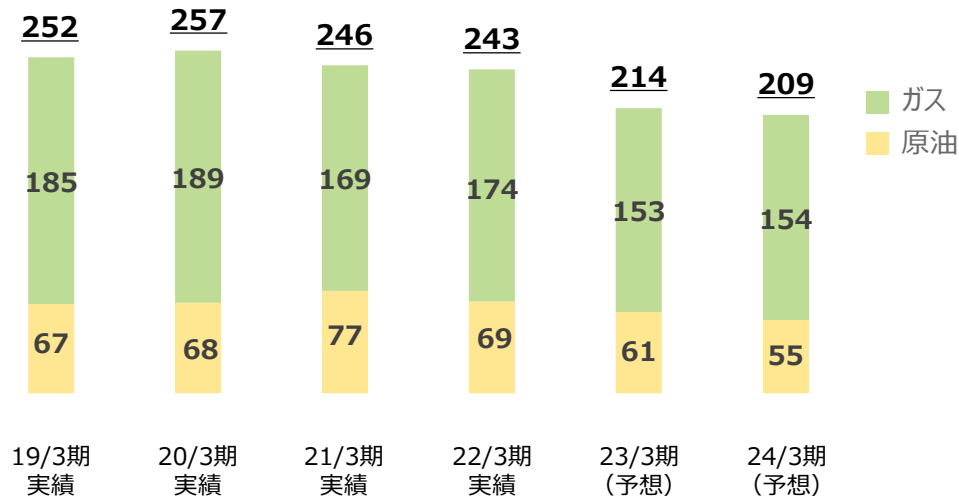
*4. 生産能力ベース

*5. 2022年12月末時点

4.エネルギー：原油・ガス持分権益生産量及び埋蔵量

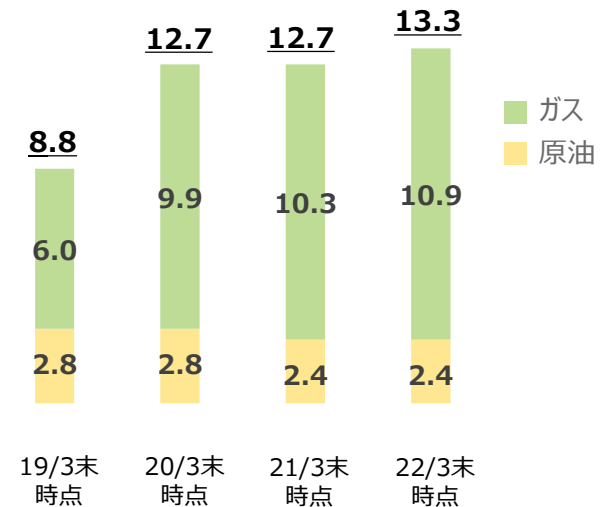
生産量^{*1*2}

(2022年5月公表)
(千バレル/日)



埋蔵量^{*1*3}

(2022年11月公表)
(億バレル)



*1. 石油換算：当社連結子会社・関連会社・一般出資先の当社権益保有見合い

*2. 一部プロジェクトでは当社持分販売量を適用

*3. 当社独自の基準による

5.エネルギー：主な事業一覧（生産中アセットのみ）

(2022年12月末現在)

商品	プロジェクト名	株主構成/権益保有者 青：当社参画Entity	LNG:生産能力 E&P:生産実績（最新情報）	決算期	当社 収益認識
LNG	アブダビ	ADNOC（70%）、三井物産（15%）、BP（10%）、TotalEnergies（5%）	LNG:610万トン/年	NA	受取配当金
LNG	カタールガス3	QatarEnergy（68.5%）、ConocoPhillips（30%）、三井物産（1.5%）	LNG:780万トン/年	3月	受取配当金
LNG	オマーン	オマーン政府（51%）、Shell（30%）、三井物産（2.77%）、他	LNG:760万トン/年	12月	受取配当金
LNG	サハリンⅡ	Gazprom（50%）、SELLC（27.5%）、MITSEL（12.5%）、三菱商事（10%）	LNG:960万トン/年	12月	受取配当金
LNG	North West Shelf (NWS)	Woodside（33.3%）、MIMI [三井物産/三菱商事=50:50]、Shell、BP、Chevron（各16.7%）	LNG:1,690万トン/年 LPG:39万トン/年 原油/コンデンセート:71千BD	12月	持分法
LNG	タンクー	BP（40.2%）、MI Berau [三菱商事/INPEX=56:44]（16.3%）、CNOOC（13.9%）、日石Berau [JX/JOGMEC]（12.2%）、KG Berau [JOGMEC/三井物産/三菱商事/INPEX/JX=49.2:20.1:16.5:14.2]（8.6%）、LNG Japan（7.4%）、KG Wiriagar [三井物産]（1.4%）（当社は、KG Berau及びKG Wiriagarを通じ、プロジェクト全体の3.16%権益を保有）	LNG:760万トン/年 原油/コンデンセート:5.5千BD	12月	持分法/連結
LNG	キャメロン	Sempra（50.2%）、三井物産、TotalEnergies、[三菱商事/NYK]（各16.6%）	LNG:1,200万トン/年	12月	持分法
E&P	MOECO/タイ沖*1	Chevron、PTTEP、MOECO（15.1%）	ガス/原油/コンデンセート:330千BD	3月	連結/持分法/ 受取配当金
E&P	MEPME/Block9	Occidental（50%）、OQ（45%）、MEPME（5%）	NA	12月	連結
E&P	MEPME/Block27	Occidental（65%）、MEPME（35%）	NA	12月	連結
E&P	MEPME/Block3&4	CCED（50%）、Tethys（30%）、MEPME（20%）	NA	12月	連結
E&P	MEPIT/Tempa Rossa	TotalEnergies（50%）、Shell（25%）、MEPIT（25%）	NA	12月	連結
E&P	MEPAU/Greater Enfield	Woodside（60%）、MEPAU（40%）	原油:25千BD	12月	連結
E&P	MEPAU/Kipper	EM（32.5%）、BHP（32.5%）、MEPAU（35%）	NA	12月	連結
E&P	MEPAU/Casino, Henry, Netherby	Cooper（50%）、MEPAU（50%）	ガス/コンデンセート:4千BD	12月	連結
E&P	MEPAU/Meridian	WestSide（51%）、MEPAU（49%）	ガス:6千BD	12月	連結
E&P	MOEX North America/Kaikias	Shell（80%）、MOEXNA（20%）	NA	12月	連結
E&P	MEPTX/Eagle Ford	Mesquite（50%）、KNOC（25%）、Javelin（12.5%）、MEPTX（12.5%）	ガス/コンデンセート/NGL:92千BD	12月	連結
E&P	MEPUSA/Marcellus	Chesapeake（32.5%）、EQT（32.5%）、Equinor（15.5%）、MEPUSA（11%）、他	ガス:3,109MMCF/D	12月	連結

*1. 2022年4月に権益満了

6.エネルギー：ロシアLNG事業の決算影響

- 大統領令に基づき設立されたサハリンⅡの新運営会社の持分を引受け。一方、同社の出資者構成は確定しておらず、不確実性の高い状況は継続
- 引き続き日本政府や事業パートナーを含むステークホルダーとも協議の上、適切に対応
- サハリンⅡへの投資の公正価値評価は、その他包括利益を通じた変動であり、当期利益及び基礎営業キャッシュ・フローに影響しない。12月末公正価値は為替変動等により9月末比減少

(単位：億円)

	22年12月末残高*2	22年9月末残高*2	22年3月末残高*2
投資・融資	1,082 (内、サハリンⅡ投資 930)	1,126 (内、サハリンⅡ投資 973)	2,225
保証	1,544	1,705	1,822
投融資保証*1	2,626	2,831	4,047
債務保証引当	▲188	▲190	▲181
Net残高	2,438	2,642	3,866

*1. 投融資保証は、債務保証引当をネットしないグロス金額

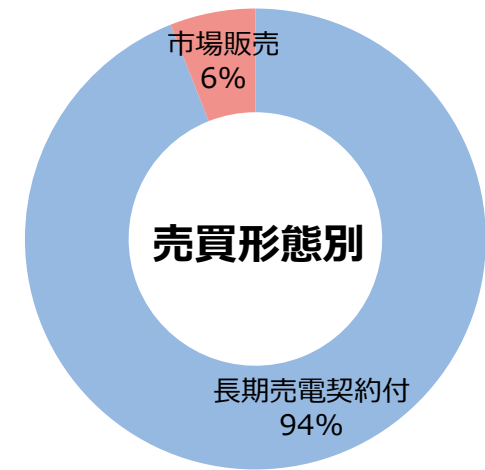
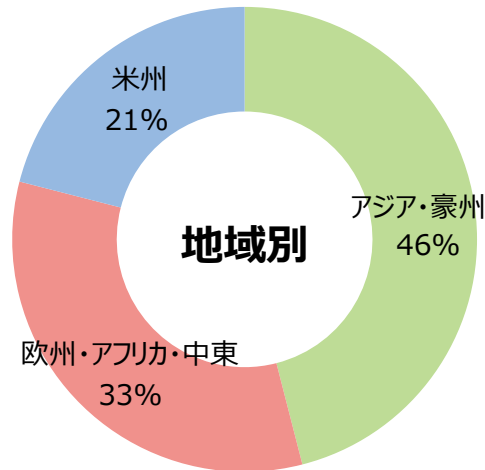
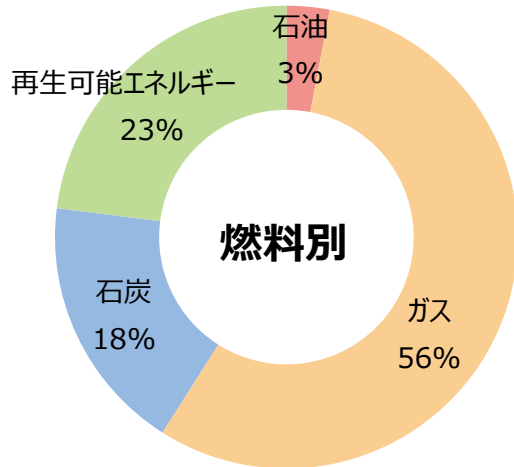
*2. Arctic LNG2に係る保険や第三者との取り決めを通じた求償・請求の見込み額考慮前のグロス金額

7.発電事業ポートフォリオ

目標：2030年 再エネ比率30%超

当社持分発電容量（ネット）：**11.1GW**
（グロス容量：41GW）

（2022年12月末現在）



発電事業ポートフォリオ明細は、以下 当社サステナビリティwebsiteをご参照

https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/environment/climate_change/pdf/ja_projectlist_20221231.pdf

8.四半期利益 要素別・セグメント別前年同期比 増減要因

(単位：億円)

	21/12 実績	基礎収益力		資源関連/ 市況・為替 (※1、2)	資産リサイクル			評価性/特殊要因			22/12 実績	増減
					前期反動	当期		前期反動	当期			
全社合計	6,333	▲ 230	うち、FVTPL▲310 (前期+220、当期▲90)	+1,660	+140	+760		▲ 60	▲ 40		8,408	+2,075
金属資源	3,709	▲ 274	<主な減益要因> ・鉄鉱石配当 <主な増益要因> ・豪鉄鉱石配当税効果 ・オールドス	▲ 150	1Q ▲ 5	1Q 0	+297	1Q +57	1Q +15 諸口	▲ 1	3,554	▲ 155
					2Q 0	2Q ▲ 27		2Q +8	2Q ▲ 5 諸口			
					3Q ▲ 20	3Q +324		3Q ▲ 13	3Q ▲ 11 諸口			
エネルギー	283	+187	<主な増益要因> ・LNGトレーディング ・METS+27 <主な減益要因> ・LNG配当減 ・複次減益要因	+1,360	+6	+11 諸口	+26	▲ 32	+1 諸口	+5	1,908	+1,625
					+9	+7 諸口		▲ 41	▲ 9 諸口			
					+17	+8 諸口		▲ 6	+13 諸口			
機械・ インフラ	922	+281	<主な増益要因> ・自動車事業 (PTL+186、PAG+94他) ・船舶事業 ・FPSO ・ガス配給事業+23 <主な減益要因> ・IPP ・PTLリース会計▲68	※2	+3	▲ 21 ・Falcon発電事業減損▲31 ・諸口+10	+67	▲ 6	+2 ・IPP関連・電力契約時価評価+7 ・諸口▲5	▲ 80	1,311	+389
					▲ 84	+84 ・FVTOCI投資売却+48 ・船舶関連 ・諸口		▲ 19	+7 ・IPP関連・電力契約時価評価+36 (累計+43) ・伯旅客鉄道事業固定資産減損▲28 ・諸口▲1			
					+27	+4 ・Falcon発電事業売却(為替)+10 ・FVTOCI投資売却+9 ・諸口		▲ 42	▲ 89 ・IPP関連・電力契約時価評価▲8 (累計+35) ・伯貨物鉄道事業固定資産減損▲70(税後▲52) ・諸口▲11			
化学品	516	+29	<主な増益要因> ・トレーディング好調(肥料・肥料原料・アンモニア) ・ペルー鉄鉱石+38 ・Novus+16 ・中南米農業資材+14 <主な減益要因> ・トレーディング 前期好調の反動減等(中間休等) ・メタノール事業▲32	※2	0	+2 ・上場株売却	+10	0	▲ 4 ・ITC火災関連損益	+27	547	+31
					+2	▲ 8 諸口		▲ 7	+17 ・ITC火災関連損益			
					+8	+16 ・上場株売却等		+32	+14 ・ITC火災関連損益			

(※1)	資源関連			商品市況	為替			総合計
	資源コスト	数量	合計		連結取込	経常為替	合計	
金属資源	▲270	▲200	▲470	▲230	300	250	550	▲150
鉄鉱石	▲90	▲130	▲220	▲650	160	160	320	▲550
石炭	▲120	▲40	▲160	450	110	90	200	490
銅他	▲60	▲30	▲90	▲30	30	0	30	▲90
エネルギー	110	▲50	60	970	250	80	330	1,360

(※2) “その他”の金額は金属資源及びエネルギーセグメントに帰属しない為替(連結取込)を便宜上集計

(※3) 資産リサイクル及び評価性/特殊要因は、第1四半期から順番に上から記載
前期数値の符号は反動ではなく発生額そのものの符号

8. 四半期利益 要素別・セグメント別前年同期比 増減要因

(単位：億円)

	21/12 実績	基礎収益力		資源関連/ 市況・為替 (※1、2)	資産リサイクル				評価性/特殊要因				22/12 実績	増減		
					前期反動		当期		前期反動		当期					
鉄鋼製品	213	▲ 19	＜主な減益要因＞ ・Numit▲45 ・米州トレーディング ＜主な増益要因＞ ・三井物産スチール+26 ・Gestamp+16	※2	▲ 2	1Q 0	1Q +10	関係会社売却益+10	▲ 1	1Q 0	1Q ▲ 11	諸口	195	▲ 18		
						2Q ▲ 6	2Q 0			2Q 0	2Q +1	諸口				
						3Q +4	3Q 0			3Q ▲ 1	3Q ▲ 2	諸口				
生活産業	428	▲ 73	＜主な減益要因＞ ・コーセーデパタイプ関連評価損等 ・FVTPL銘柄▲53 ・PHC▲29 ＜主な増益要因＞ ・マルチグレン関連税金還付+32 ・IHH+30 ・穀物等トレーディング ・国内流通関連事業会社+16	※2	+102	+11	0		+15	+2	+100	・R-Pharmブットオプション評価益+91 ・IHH子会社DTA増加+9	423	▲ 5		
						+24	+133	+9		諸口	▲ 1	+52			+31	・R-Pharmブットオプション評価益+25 (累計+116) ・IHH子会社DTA増加+6 (累計+15)
						+67	+124	・FVTOCI投資売却+122 ・諸口+2		+14	▲ 79	・R-Pharmブットオプション評価益▲70 (累計+46) ・諸口▲9				
次世代・ 機能推進	422	▲ 72	＜主な減益要因＞ ・FVTPL▲212 (前期+160、当期▲52) -Wise、Peterson VP他 ＜主な増益要因＞ ・コモディティレーディング (MBC+69、他) ・三井情報+20	※2	+86	+4	+98	・米・星不動産売却益+93 ・諸口+5	▲ 14	▲ 13	+2	諸口	497	+75		
						+24	+76	・株式売却益 ・不動産等売却益+37 ・諸口		0	▲ 2	0				
						+58	+47	・VCファンドTA実現益+21 ・不動産等売却益+14 ・メディア事業売却益 ・諸口		▲ 1	▲ 4	諸口				
その他	▲ 159	▲ 282	各セグメントに賦課しない経費・利息・税金等	※2	0	0	0		0	0	0		▲ 27	+132		
						0	0			0	0					
						0	0			0	▲ 28	・システム除却▲28				

注) 四捨五入差異により全社と各セグメントの合計は不一致

(※1) 資源関連/市況・為替の内訳は、前ページの脚注に記載

(※2) "その他"の金額は金属資源及びエネルギーセグメントに帰属しない為替(連結取込)を便宜上集計

(※3) 資産リサイクル及び評価性/特殊要因は、第1四半期から順番に上から記載
前期数値の符号は反動ではなく発生額そのものの符号

9.連結損益・財政状態補足情報

<簡易連結損益計算書>

	22/12期	21/12期	増減
売上総利益	10,182	7,898	+2,284
販売費及び一般管理費	▲5,117	▲4,237	▲880
有価証券損益	545	▲57	+602
固定資産評価損益	▲161	▲143	▲18
固定資産処分損益	168	116	+52
雑損益	228	248	▲20
受取配当金*1	1,034	1,520	▲486
利息収支*2	▲406	▲212	▲194
持分法による投資損益	4,174	3,189	+985
法人所得税	▲2,025	▲1,818	▲207
非支配持分損益	▲216	▲172	▲44
当期利益（親会社の所有者に帰属）	8,408	6,333	+2,075

*1 受取配当金明細

	22/12期	21/12期	増減
受取配当金	1,034	1,520	▲486
第1四半期	346	337	+9
第2四半期	463	742	▲279
第3四半期	225	441	▲216
（内訳）			
国内	181	119	+62
海外	853	1,401	▲548
内、海外LNG案件*3	308	460	▲152

*3 サウジアラビア、Abu Dhabi、Qatar-Gas 1、Oman、Qatar-Gas 3、Qatar-Gas 1は21年12月に権益満了

*4 劣後特約付（合計5,550億円）の50%を資本金と見做して調整を加えたネットDER

*2 利息収支内訳

（単位：億円）

	22/12期	21/12期	増減
利息収支	▲406	▲212	▲194
受取利息	323	147	+176
支払利息	▲729	▲359	▲370
（区分別内訳）			
親会社	▲261	▲90	▲171
現地法人	12	▲5	+17
国内連結子会社	▲3	▲15	+12
海外連結子会社	▲154	▲102	▲52

<ネットDER・調整後ネットDER>

	22/12期末	22/3期末
有利子負債		
短期債務	3,979	2,818
長期債務	47,217	45,956
長短債務合計	51,196	48,774
（控除）リース負債	▲3,848	▲3,682
有利子負債合計	47,348	45,092
（控除）現金及び現金同等物、定期預金	▲12,526	▲11,703
ネット有利子負債	34,822	33,389
親会社の所有者に帰属する持分合計	61,204	56,052
有利子負債倍率（倍）		
ネットDER	0.57	0.60
調整後ネットDER*4	0.50	0.52

<有利子負債平均残高>

	22/12期	21/12期
有利子負債残高 （当四半期末・前期末平均）	46,220	44,296
当四半期末残高	47,348	44,576
前期末残高	45,092	44,015

10.セグメント別データ 金属資源

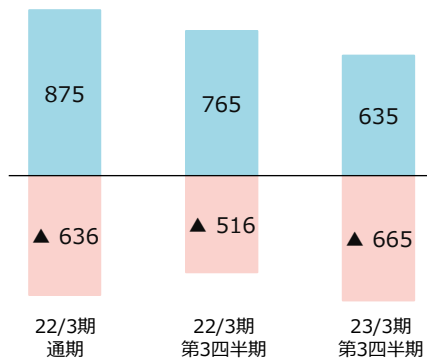
(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	4,330	3,555	▲775	↓豪鉄鉱石（販売価格下落）	4,100	87%	4,100
四半期利益 (評価性・特殊要因)	3,709 (52)	3,554 (▲1)	▲155 (▲53)		4,150	86%	4,000
売上総利益	3,037	2,827	▲210	↓豪鉄鉱石（価格下落） ↑豪原料炭（価格上昇）			
持分法損益	1,027	1,032	+5	↑豪原料炭（価格上昇）、オールドス ↓豪鉄鉱石（価格下落）、チリ銅（価格下落）			
受取配当金	888	516	▲372	↓Vale（配当減）			
販管費	▲222	▲256	▲34				
その他	▲1,021	▲565	+456	↑豪原料炭SMC売却益			
総資産*1	31,802	30,582	▲1,220				

投資CF

■ IN
■ OUT



22/3期 第3四半期 内訳

<IN>
・銅事業貸付金回収 +576
<OUT>
・豪州鉄鉱石（既存事業維持）▲325
・豪州原料炭（既存事業維持）▲186

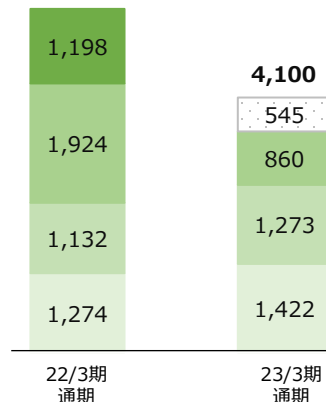
23/3期 第3四半期 内訳

<IN>
豪原料炭SMC売却 +549
<OUT>
・豪州鉄鉱石（既存事業維持）▲347
・豪州原料炭（既存事業維持）▲208

四半期推移

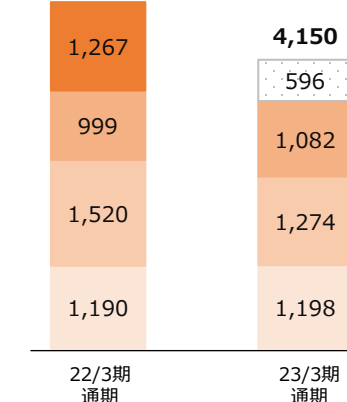
基礎営業CF

■ 1Q ■ 2Q
■ 3Q ■ 4Q □ 見通し



四半期利益

■ 1Q ■ 2Q
■ 3Q ■ 4Q □ 見通し



*1. 比較対象期は22/3末
*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
*3. 「主要関係会社業績」はP37に記載しています

10.セグメント別データ エネルギー

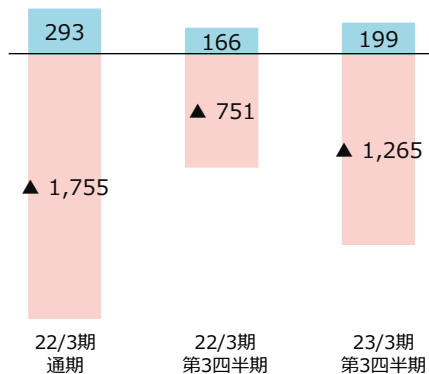
(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	1,529	2,759	+1,230	↑原油・ガス価格上昇	4,200	66%	3,600
四半期利益 (評価性・特殊要因)	283 (▲79)	1,908 (5)	+1,625 (+84)		3,100	62%	2,300
売上総利益	412	1,948	+1,536	↑原油・ガス価格上昇、LNGトレーディング（キャメロンLNG引取数量増）			
持分法損益	240	784	+544	↑原油・ガス価格上昇			
受取配当金	464	325	▲139	↓LNG配当減			
販管費	▲369	▲432	▲63				
その他	▲464	▲717	▲253				
総資産*1	29,604	30,731	+1,127				

投資CF

■ IN
■ OUT



22/3期 第3四半期 内訳

<OUT>
 ・開発中LNG案件（Area1）▲264
 ・石油・ガス生産事業（既存事業維持等）▲264
 ・発電事業

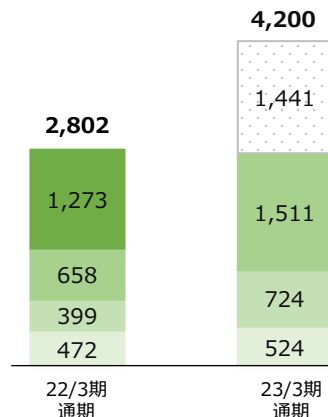
23/3期 第3四半期 内訳

<OUT>
 ・石油・ガス生産事業（既存事業維持等）▲344
 ・Climate Friendly
 ・MOECO株式支払▲204

四半期推移

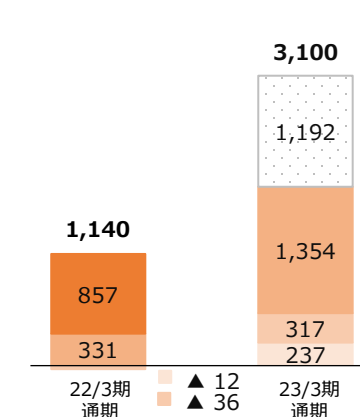
基礎営業CF

■ 1Q ■ 2Q
■ 3Q ■ 4Q □ 見通し



四半期利益

■ 1Q ■ 2Q
■ 3Q ■ 4Q □ 見通し



*1. 比較対象期は22/3末
 *2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
 *3. 「主要関係会社業績」はP37に記載しています

10.セグメント別データ 機械・インフラ

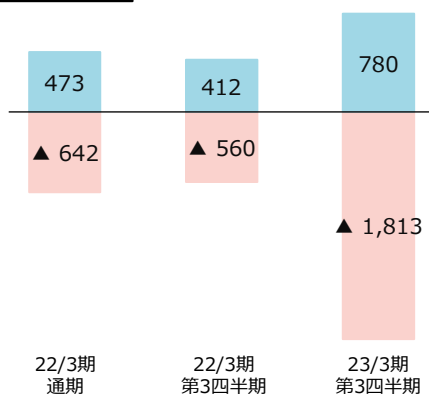
(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	1,132	1,587	+455	↑自動車等 関連会社配当増	1,850	86%	1,800
四半期利益 (評価性・特殊要因)	922 (▲67)	1,311 (▲80)	+389 (▲13)		1,750	75%	1,750
売上総利益	1,030	1,477	+447	↑主に自動車関連子会社における増益、連結化			
持分法損益	1,091	1,517	+426	↑北米中心に自動車・商用車事業好調、船舶事業、FPSO			
受取配当金	32	31	▲1				
販管費	▲912	▲1,206	▲294				
その他	▲319	▲508	▲189	↓伯旅客鉄道事業減損 ↑Falcon減損（前年同期）、FVTOCI売却に係る法人税減			
総資産*1	26,845	31,438	+4,593				

投資CF

■ IN
■ OUT



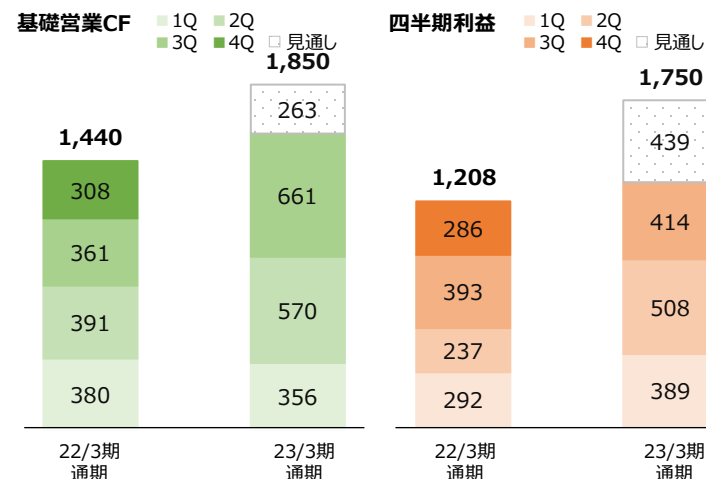
22/3期 第3四半期 内訳

<OUT>
・発電事業

23/3期 第3四半期 内訳

<IN>
・FVTOCI金融資産売却
・Falcon +116
<OUT>
・Mainstream ▲798
・インド大型再エネ事業

四半期推移



*1. 比較対象期は22/3末
*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
*3. 「主要関係会社業績」はP38に記載しています

10.セグメント別データ 化学品

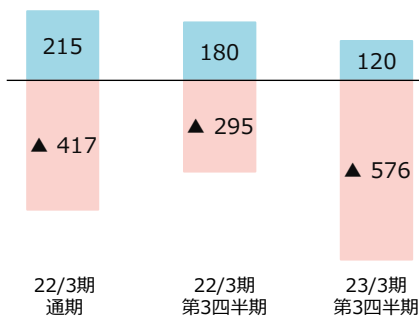
(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	719	725	+6		950	76%	950
四半期利益 (評価性・特殊要因)	516 (25)	547 (27)	+31 (+2)		700	78%	700
売上総利益	1,320	1,600	+280	↑肥料関連トレーディング(価格上昇)、Novus+56(メチオニン価格上昇)、MASI+40(農業需要好調)			
持分法損益	142	213	+71	↑MVM Resources+38(燐鉱石価格上昇)			
受取配当金	32	32	±0				
販管費	▲827	▲1,031	▲204				
その他	▲151	▲267	▲116	↑ITC火災関連+49(保険金収入及び費用)			
総資産*1	16,929	18,002	+1,073				

投資CF

■ IN
■ OUT



22/3期 第3四半期 内訳

<IN>
・日本マイクロバイオファーマ製造受託事業売却

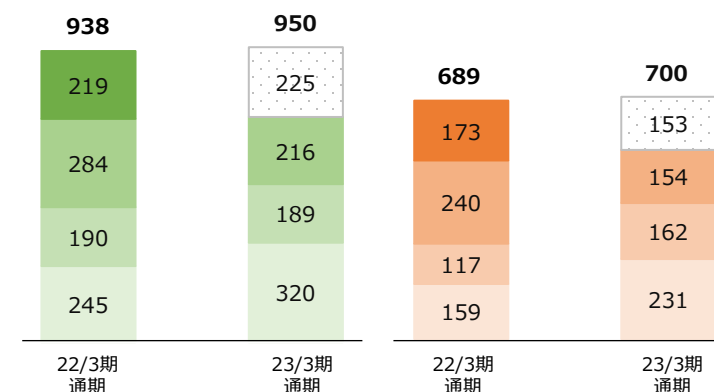
23/3期 第3四半期 内訳

<OUT>
・伯アニマルヘルス事業 (Ouro Fino Saude Animal)
・機能性食品容器事業 (LSSPI)
・電池負極材事業者 (NMG) 転換社債引き受け
・北米歯科医院経営サービス (SDP)

四半期推移

基礎営業CF ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q □ 見通し

四半期利益 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q □ 見通し



*1. 比較対象期は22/3末
*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
*3. 「主要関係会社業績」はP39に記載しています

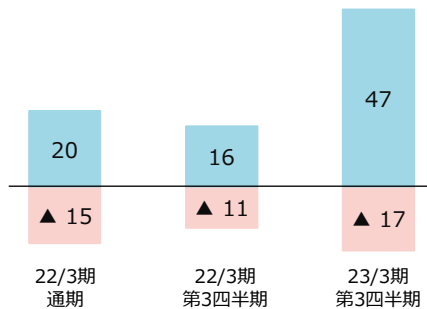
10.セグメント別データ 鉄鋼製品

(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	92	154	+62		150	103%	150
四半期利益 (評価性・特殊要因)	213 (▲1)	195 (▲12)	▲18 (▲11)		200	98%	200
売上総利益	254	320	+66	↑MBS (トレーディング好調)			
持分法損益	212	194	▲18	↓NuMit (在庫評価損、価格下落)			
受取配当金	12	25	+13				
販管費	▲175	▲209	▲34				
その他	▲90	▲135	▲45				
総資産*1	6,916	7,773	+857				

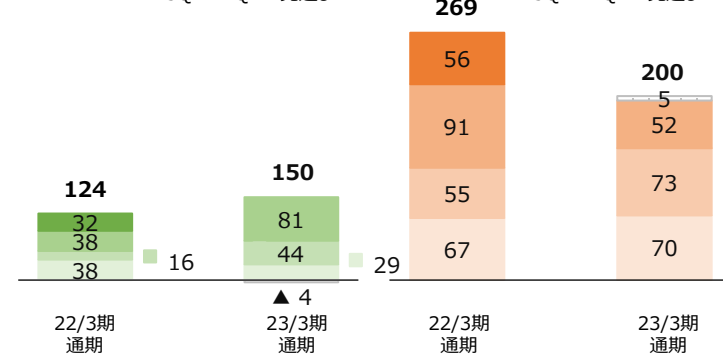
投資CF

 IN
OUT


22/3期 第3四半期 内訳
-
23/3期 第3四半期 内訳
-

四半期推移

基礎営業CF 1Q 2Q 3Q 4Q 見通し



- *1. 比較対象期は22/3末
 *2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
 *3. 「主要関係会社業績」はP39に記載しています

10.セグメント別データ 生活産業

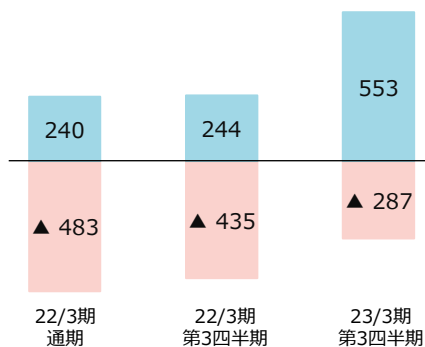
(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	335	312	▲23	↑穀物トレーディング ↓公正価値評価損	250	125%	250
四半期利益 (評価性・特殊要因)	428 (15)	423 (52)	▲5 (+37)		500	85%	500
売上総利益	1,109	1,178	+69	↑コーヒー為替影響、穀物トレーディング ↓創業支援ファンドの公正価値評価損			
持分法損益	325	299	▲26	↓PHC一般社外化に伴う減益			
受取配当金	54	60	+6				
販管費	▲990	▲1,067	▲77				
その他	▲70	▲47	+23	↑FVTOCI売却に係る法人税減、R-Pharmのプットオプション評価益 ↓コーヒーのヘッジ目的の為替関連損失、前期PHC一部売却・評価益の反動減			
総資産*1	24,286	26,200	+1,914				

投資CF

■ IN
■ OUT



22/3期 第3四半期 内訳

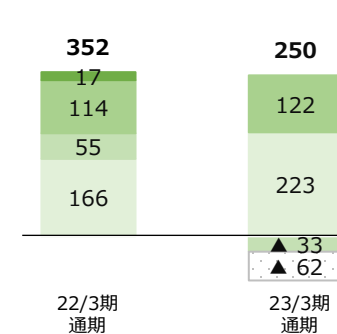
<IN>
・日本マイクロバイオファーマ製造受託事業売却
<OUT>
・CT Corp持株会社転換社債引受

23/3期 第3四半期 内訳

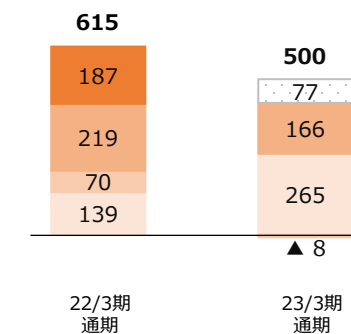
<IN>
・FVTOCI金融資産売却
<OUT>
・米・パルス食品事業ROL-RYZ
・Mit-Salmon

四半期推移

基礎営業CF 1Q 2Q 3Q 4Q □ 見通し



四半期利益 1Q 2Q 3Q 4Q □ 見通し



*1. 比較対象期は22/3末
*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
*3. 「主要関係会社業績」はP40に記載しています



10.セグメント別データ 次世代・機能推進

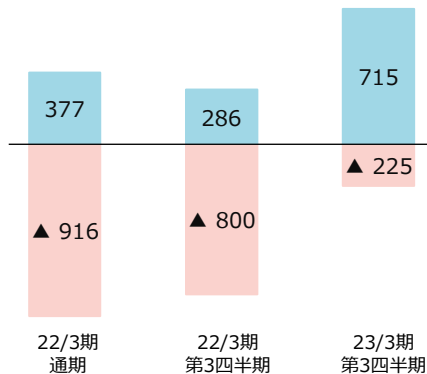
(単位：億円)

業績

	22/3期 第3四半期	23/3期 第3四半期	増減	増減理由	23/3期 通期業績予想	進捗率*2	23/3期 従来予想
基礎営業CF	351	344	▲7		400	86%	350
四半期利益 (評価性・特殊要因)	422 (▲14)	497 (▲2)	+75 (+12)		600	83%	550
売上総利益	722	778	+56	↑ Mitsui Bussan Commodities (コモディティレーディング好調) ↓ 前期FVTPL益反動減 (Wise他)			
持分法損益	153	132	▲21				
受取配当金	27	36	+9				
販管費	▲511	▲609	▲98	↓ Mitsui Bussan Commodities			
その他	31	160	+129	↑ 不動産事業における売却益			
総資産*1	17,290	17,621	+331				

投資CF

■ IN
■ OUT



22/3期 第3四半期 内訳

<IN>
・米国賃貸住宅売却 +178
<OUT>
・CT Corp持株会社転換社債引受
・三井物産都市開発 ▲130

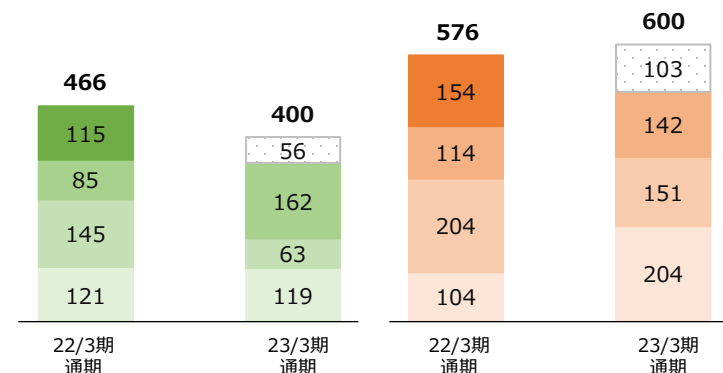
23/3期 第3四半期 内訳

<IN>
・米国不動産売却 +326
・星国不動産売却 +201

四半期推移

基礎営業CF ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q □ 見通し

四半期利益 ■ 1Q ■ 2Q ■ 3Q ■ 4Q □ 見通し



*1. 比較対象期は22/3末
*2. 修正した通期業績予想に対する進捗率
*3. 「主要関係会社業績」はP41に記載しています
Copyright © MITSUI & CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

11.主要関係会社業績（当社取込損益）

（単位：億円）

会社名	事業内容	損益比率 (%)	区分*7	決算月	23/3期			22/3期	増減
					上半期	3Q実績	3Q累計	3Q累計	
【金属資源】									
豪州鉄鉱石事業*1	豪州鉄鉱石の採掘・販売	Var.	子	03	1,215	527	1,742	2,275	▲533
豪州石炭事業*1	豪州石炭関連事業への投資	Var.	子/関	Var.	694	130	823	297	526
Oriente Copper Netherlands*1	チリ銅事業会社Becruxへの投資	100.0	子	03	0	▲22	▲22	86	▲108
Japan Collahuasi Resources	チリ銅鉱山への投資	100.0	子	12	143	41	185	273	▲88
オールドス電力冶金	石炭、電力、合金鉄、化学品、黄河引水事業	20.2	関	12	152	48	200	149	51
三井物産メタルズ	非鉄原料及び非鉄製品の国内販売・貿易	100.0	子	03	7	2	9	11	▲2
日本アマゾンアルミニウム*3	ブラジルアルミニウム製錬事業への投資	20.5	関	12	-	-	-	-	-
【エネルギー】									
Mitsui E&P Australia Holdings*4	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産	100.0	子	12	125	45	170	19	151
Mitsui E&P Middle East	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産	100.0	子	12	48	36	84	27	57
三井石油開発	石油・天然ガス・地熱エネルギー資源の探鉱・開発・生産	100.0	子	03	119	13	133	▲83	216
MOEX North America*2	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産	100.0	子	12	10	48	58	3	55
Mitsui E&P USA*2	石油天然ガス開発販売	100.0	子	12	285	161	446	121	325
MEP Texas Holdings*2	米州域内石油・ガス事業への投資	100.0	子	12	86	37	124	29	95
Mitsui E&P Italia B	石油・天然ガスの探鉱・開発・生産	100.0	子	12	4	▲8	▲4	▲50	46
Mitsui & Co. Energy Marketing and Services	天然ガス、電力及び石油の現物・先物取引	100.0	子	12	7	▲2	5	23	▲18
MIT SEL Investment*3 *5	サハリンⅡの投資主体	100.0	子	03	-	-	-	-	-
Mitsui E&P Mozambique Area 1	モザンビークでの天然ガスの開発・生産	50.3	関	12	▲19	▲9	▲28	0	▲28
Mitsui & Co. Energy Trading Singapore	石油・LNGの物流取引・権益カーゴ販売	100.0	子	03	50	13	63	36	27
ENEOSグローブ	LPGの輸入・販売、新エネルギー関連事業	30.0	関	03	16	12	28	24	4
Japan Australia LNG (MIMI) *3	石油天然ガス開発販売	50.0	関	12	-	-	-	-	-
Mitsui & Co. LNG Investment USA	米国LNG事業への投資、LNG販売	100.0	子	12	99	49	148	114	34
Japan Arctic LNG	ロシア石油・天然ガスの探鉱・開発・販売	25.6	関	12	0	0	0	▲47	47
MyPower	北米New Downstream領域の事業開発・事業管理	100.0	子	03	▲11	▲5	▲16	4	▲20

11.主要関係会社業績（当社取込損益）

(単位：億円)

会社名	事業内容	損益比率 (%)	区分*7	決算月	23/3期			22/3期	増減
					上半期	3Q実績	3Q累計	3Q累計	
【機械インフラ】									
＜プロジェクト＞									
IPP事業関連会社*1	国内外発電事業	Var.	子/関	Var.	87	▲30	57	113	▲56
FPSO/FSOリース事業関連会社*1	FPSO/FSOリース事業	Var.	関	12	66	27	92	40	52
ドリルシップ事業*1	超深海鉱区掘削船リース事業への投資	Var.	子	Var.	9	11	20	35	▲15
ガス配給事業*1	ブラジル・メキシコガス配給事業への投資	100.0	子	12	84	34	118	95	23
港湾事業*1	港湾ターミナルの開発・運営	Var.	子/関	Var.	14	5	18	14	4
三井物産プラントシステム	各種プラント、電力関連設備、鉄道機器販売	100.0	子	03	14	12	25	18	7
Mitsui Water Holdings (Thailand)	上水供給事業への投資	100.0	子	03	15	7	21	19	2
Atlatec	水処理設備の設計・建設・操業	96.4	子	12	7	4	11	3	8
＜モビリティ第一＞									
Penske Automotive Group	自動車販売・総合ソリューション事業	18.7	関	12	154	89	243	165	78
MBK USA Commercial Vehicles	トラックリース事業投資	100.0	子	12	199	148	347	213	134
アジア自動車(製造・卸売)関連事業*1	アジア自動車(製造・卸売)関連事業	Var.	関	Var.	50	27	77	50	27
Toyota Chile	チリ自動車及び部品の輸入・販売	100.0	子	12	24	12	35	31	4
Bussan Auto Finance	二輪車販売金融	65.0	子	12	24	11	35	22	13
南米自動車販売金融事業*1	南米自動車販売金融事業	Var.	子/関	12	17	8	25	20	5
VLI	ブラジル一般貨物輸送事業	20.0	関	12	▲18	▲57	▲75	▲24	▲51
産機・建機関連事業*1	産機・建機関連事業	Var.	子/関	Var.	55	50	105	78	27
Inversiones Mitta	自動車オペレーティングリース・レンタル事業	80.0	子	12	9	5	15	7	8
＜モビリティ第二＞									
東洋船舶	船舶管理、用船・中古船仲介、船舶機器販売	100.0	子	03	10	8	17	18	▲1
OMC SHIPPING	海運業	100.0	子	03	50	13	63	35	28
鉄道車両リース・レンタル事業会社*1	貨車/機関車リース・レンタル事業	100.0	子	03	15	12	27	14	13
航空関連事業会社*1	航空関連事業	Var.	子/関	Var.	11	7	18	23	▲5

11.主要関係会社業績（当社取込損益）

（単位：億円）

会社名	事業内容	損益比率 (%)	区分*7	決算月	23/3期			22/3期	増減
					上半期	3Q実績	3Q累計	3Q累計	
【化学品】									
＜ベーシックマテリアルズ＞									
日本アラビアメタノール	サウジアラビアメタノール製造事業への投資、製品販売	55.0	子	03	20	8	28	20	8
MMTX	米国メタノール関連事業	100.0	子	03	15	▲4	11	50	▲39
Intercontinental Terminals Company*3	石油製品、化学品ターミナル事業	100.0	子	03	40	30	70	-	-
三井物産ケミカル	溶剤、化成品等の化学製品国内販売及び貿易	100.0	子	03	13	5	18	13	5
SHARK BAY SALT	塩田事業	100.0	子	03	▲1	9	8	10	▲2
＜パフォーマンスマテリアルズ＞									
三井物産プラスチック	合成樹脂等の内販、輸出入	100.0	子	03	29	12	41	32	9
住生活マテリアル関連事業*1	生活資材関連事業	Var.	子/関	Var.	17	6	23	22	1
Mitsui Plastics Trading (Shanghai)	合成樹脂及び関連材料・その他のマーケティング・販売	100.0	子	12	9	5	14	15	▲1
LABIX	リニアアルキルベンゼンの製造・販売事業	25.0	関	12	8	3	11	10	1
＜ニュートリション・アグリカルチャー＞									
Novus International	飼料添加物の製造・販売	80.0	子	03	7	▲5	2	▲14	16
海外農業事業*1	海外での農業製造、販売事業	Var.	子/関	Var.	40	▲10	30	31	▲1
中南米農業資材事業*1	中南米での農業資材販売への投資、農業資材販売・営農指導サービスの提供	Var.	子	12	20	11	31	17	14
MVM Resources International	ペルー磷硫石プロジェクトへの投資	25.0	関	12	20	24	44	6	38
【鉄鋼製品】									
三井物産スチール*1	鋼材等の内販、貿易	Var.	子/関	03	57	30	88	62	26
日鉄物産*3	鉄鋼を中心とした販売及び輸出入	19.9	関	03	34	-	-	53	-
Gestamp事業会社*1	自動車向けプレス部品事業	Var.	関	12	13	4	16	0	16
NuMit*2	鋼材加工販売会社への投資	50.0	関	12	52	▲1	51	96	▲45
Regency Steel Asia	鉄鋼製品の卸売	100.0	子	03	1	0	2	11	▲9
SIAM YAMATO STEEL	鉄鋼製品の製造・販売	20.0	関	12	12	2	14	13	1

11.主要関係会社業績（当社取込損益）

(単位：億円)

会社名	事業内容	損益比率 (%)	区分*7	決算月	23/3期			22/3期	増減
					上半期	3Q実績	3Q累計	3Q累計	
【生活産業】									
＜食料＞									
XINGU AGRI	農産物の生産、販売事業	100.0	子	12	9	6	15	17	▲2
United Grain Corporation of Oregon	穀物の集荷・輸出事業	100.0	子	03	9	14	23	29	▲6
D M三井製糖ホールディングス*3	精製糖並びに砂糖関連商品の製造、販売	26.7	関	03	4	-	-	7	-
KASET PHOL SUGAR	砂糖の製造、販売	70.4	子	10	▲3	▲11	▲14	▲21	7
フィード・ワン*3	配合飼料の製造・販売	25.6	関	03	0	-	-	10	-
ブライフーズ	プロイラーの生産・加工・販売	51.2	子	03	3	5	8	12	▲4
Mit-Salmon Chile	サーモン養殖・加工・販売事業会社への出資	100.0	子	12	3	2	5	14	▲9
＜流通事業＞									
国内流通関連事業会社*1	国内流通関連事業	Var.	子	03	22	17	38	22	16
WILSEY FOODS	加工油脂食品事業	90.0	子	03	24	27	50	37	13
ファッション事業*1	ファッション事業	Var.	子/関	Var.	▲11	30	19	20	▲1
＜ウェルネス事業＞									
IHH Healthcare Berhad	ヘルスケア関連事業	32.8	関	12	106	22	129	113	16
エームサービス	給食サービス業	50.0	関	03	8	3	12	15	▲3
UHS PARTNERS	医療人材派遣事業への投資	100.0	子	12	25	8	33	28	5

11.主要関係会社業績（当社取込損益）

（単位：億円）

会社名	事業内容	損益比率 (%)	区分*7	決算月	23/3期			22/3期	増減
					上半期	3Q実績	3Q累計	3Q累計	
【次世代・機能推進】									
＜ICT事業＞									
りらいあコミュニケーションズ*3	テレマーケティング事業	36.6	関	03	8	-	-	19	-
QVC ジャパン*3	テレビショッピングを主体とした通信販売	40.0	関	12	-	-	-	-	-
三井情報	ICT総合サービス	100.0	子	03	26	17	43	23	20
三井物産セキュアディレクション	サイバーセキュリティ事業	100.0	子	03	4	3	8	6	2
ワールド・ハイビジョン・チャンネル	衛星基幹放送事業	100.0	子	03	6	2	9	8	1
＜コーポレートディベロップメント＞									
JA三井リース	総合リース業	31.4	関	03	25	12	36	29	7
三井物産グローバルロジスティクス	国内物流倉庫事業及び国際複合一貫輸送事業	100.0	子	03	23	10	33	28	5
Mitsui Bussan Commodities	エネルギー・非鉄金属デリバティブ取引	100.0	子	03	49	55	104	35	69
三井物産アセットマネジメント・ホールディングス	不動産アセットマネジメント事業	100.0	子	03	4	0	4	11	▲7
SABRE INVESTMENTS*3	米国リアルアセット所有・運営事業への出資	100.0	子	12	-	-	-	-	-
三井物産都市開発	不動産の売買・賃貸借・仲介	100.0	子	03	6	2	8	16	▲8
海外不動産事業*1	海外不動産事業	Var.	子/関	Var.	127	8	135	40	95

(*)1) の会社については、該当する事業の会社の連結業績をそれぞれ合計したものです。

(*)2) Mitsui E&P USA、MOEX North America、MEP Texas Holdings及びNumitは、別個の投資元が納税主体であるため、税前の業績を表示しています。

(*)3) の会社の“-”については、パートナーとの守秘義務契約があることや、上場会社で決算発表前であるなどの理由により、実績の公表を差し控えていただきます。

(*)4) Mitsui E&P Australiaは23/3期1Qに実施した再編に伴い、AWEの子会社となりました。また、あわせてAWEはMitsui E&P Australia Holdingsに社名を変更しました。22/3期の実績はMitsui E&P Australiaと旧AWEを合算した業績を記載しています。

(*)5) MIT SEL Investmentは、サハリンII LNG事業に投資する23/3期2Qに新たに設立された会社です。

(*)6) Mitsui E&P Italia Alは、23/3期3Qに実施した再編に伴い、Mitsui E&P Italia Bに吸収合併され、解散しました。

(*)7) 区分欄で「子」は連結子会社、「関」は持分法適用会社を意味します。

12.オペレーティング・セグメント情報（当期）

2023年3月期第3四半期（2022年4月1日～2022年12月31日）

（単位：億円）

項目	金属 資源												
		エネルギー 第一	エネルギー 第二	エネルギー ソリューション	エネ ルギー	プロジェク ト	モビリティ 第一	モビリティ 第二	機械・ インフラ	ベーシック マテリアル ズ	パフォーマ ンスマテリ アルズ	ニュートリ ジョン・アグ リカル チャー	化学品
売上総利益	2,827	1,537	402	9	1,948	161	1,099	217	1,477	416	398	786	1,600
持分法による投資損益	1,032	78	713	▲7	784	422	974	120	1,517	70	75	68	213
四半期利益（親会社の所有者に帰属）	3,554	797	1,183	▲72	1,908	256	868	187	1,311	219	159	168	547
総資産（2022年12月31日現在）	30,582	17,271	12,249	1,211	30,731	13,115	12,805	5,519	31,438	6,439	5,567	5,996	18,002
基礎営業CF	3,555	1,608	1,246	▲95	2,759	348	1,079	160	1,587	384	81	261	725

項目	鉄鋼 製品								合計	その他/ 調整 消去	連結 合計
		食料	流通事業	ウェルネス	生活 産業	ICT	コーポレー トディベロッ プメント	次世代・ 機能 推進			
売上総利益	320	574	512	91	1,178	227	551	778	10,128	54	10,182
持分法による投資損益	194	47	73	179	299	72	60	132	4,171	3	4,174
四半期利益（親会社の所有者に帰属）	195	100	92	230	423	76	421	497	8,435	▲27	8,408
総資産（2022年12月31日現在）	7,773	10,080	9,169	6,952	26,200	2,130	15,491	17,621	162,347	▲6,657	155,690
基礎営業CF	154	174	126	12	312	51	293	344	9,436	176	9,612

12.オペレーティング・セグメント情報（前期）

2022年3月期第3四半期（2021年4月1日～2021年12月31日）

（単位：億円）

項目	金属 資源												
		エネルギー 第一	エネルギー 第二	エネルギー ソリューション	エネ ルギー	プロジェク ト	モビリティ 第一	モビリティ 第二	機械・ インフラ	ベーシック マテリアル ズ	パフォーマ ンスマテリ アルズ	ニュートリ ション・アグ リカル チャー	化学品
売上総利益	3,037	571	▲184	25	412	130	710	191	1,030	434	341	545	1,320
持分法による投資損益	1,027	43	205	▲8	240	370	679	42	1,091	64	62	17	142
四半期利益（親会社の所有者に帰属）	3,709	42	255	▲14	283	159	623	139	922	310	156	50	516
総資産（2022年3月31日現在）	31,802	17,035	11,737	832	29,604	10,231	11,939	4,675	26,845	6,424	5,033	5,473	16,929
基礎営業CF	4,330	1,207	352	▲30	1,529	348	589	195	1,132	441	107	171	719

項目	鉄鋼 製品								合計	その他/ 調整 消去	連結 合計
		食料	流通事業	ウェルネス	生活 産業	ICT	コーポレー トディベロ ップメント	次世代・ 機能 推進			
売上総利益	254	499	477	133	1,109	227	495	722	7,884	14	7,898
持分法による投資損益	212	74	57	193	325	73	80	153	3,190	▲1	3,189
四半期利益（親会社の所有者に帰属）	213	136	61	232	428	86	336	422	6,493	▲160	6,333
総資産（2022年3月31日現在）	6,916	9,873	7,821	6,592	24,286	2,122	15,168	17,290	153,672	▲4,439	149,233
基礎営業CF	92	177	71	88	335	58	294	351	8,488	141	8,629

360° business innovation.



MITSUI & CO.